



苓北町議会だより

きずな



町木「ツバキ」

99

2016年10月21日発行
(平成28年)

●あなたと議会のかけ橋に

夢のかけ橋 天草五橋 開通50周年

式典に華を添えた大矢野中吹奏楽部



これまで船を使うしか行動の術がなかった天草諸島の民。
島と島とを橋で継ぎ島民の生活を護ろう!!
誰もおもい浮かばない奇想天外としか言い様のない迷案!!
ところが、1936年県議会で宇土・天草架橋として提案された!!
そして1962年架橋起工式が行われ、1966年9月開通式。
あれから50年!!感慨無量!!

平成28年9月25日 上天草アロマにて
(写真提供: 天草市 楠本千秋さん)

町花「はまゆう」



【主な内容】

- 定例会など 2～4
- 決算審査特別委員会 4～6
- 一般質問 7～12
- 傍聴記 13

※として保存しました。

議会の主な動き

平成28年7月～平成28年10月

7月

20日(水) 益城町へボランティア
29日(金) 苓北町振興計画審議会
31日(日) 長崎パーロン選手権大会

10日(水) 合同常任委員長会議
19日(金) 総務常任委員会
23日(火) 県議長会 常任委員長・議会運営
委員長研修会(グランメッセ熊本)

8月

24日(水) 議会活性化等検討特別委員会
アンケート部会
26日(金) 議会運営委員会
29日(月) 議会全体会議
29日(月) JA役員との意見交換会
29日(月) 苓北町水産振興協議会
31日(水) 天草広域連合第3回定例会

9月

2日(金) 平成28年度天草地域国県道路整備
促進期成会総会 上天草市
7日(水) 平成28年第10回苓北町議会定例会
(1日目)
8日(木) 第10回苓北町議会定例会(2日目)
8日(木) 決算審査特別委員会
12日(月) 決算審査特別委員会
13日(火) 決算審査特別委員会
14日(水) 第10回苓北町議会定例会(3日目)
25日(日) 天草五橋開通50周年記念式典
25日(日) 町民体育祭(坂瀬川・都呂々)

10月

2日(日) 町民体育祭(志岐・富岡)
6日(木) 西海岸窯元めぐり(～10日)
13日(木) 県議長会 議員研修会
(菊陽町図書館ホール)

議会広報特別委員会 9月14日・21日・10月3日・14日

議事録は『**苓北町役場ホームページ**』

<http://reihoku-kumamoto.jp/gikai-gijiroku/>

で閲覧できます。7月の第9回定例会まで議事録作成済み

次の定例会は
12月です。

皆様の傍聴をお待ちしております。
(9月定例会の傍聴者は男性51人、
女性14人、計65人でした。)
臨時会は不定期に開かれます。

**きずな・議会に
対するご意見を
お寄せください。**

連絡先：議会事務局 ☎35-1111

編集後記

世界の各地でこれまで経験したことのない地震、津波、大型台風、ゲリラ豪雨等々が発生し、私たちに大きな不安を与えています。熊本でも、四月の地震から半年が経過しました。被災された皆様、お亡くなりになられたご遺族の皆様、心からの御見舞いとご冥福をお祈りいたします。

苓北町議会は町民の皆様のご要望にこたえるべく、議会活性化のアンケート調査を実施いたしました。今後は、このアンケートを参考にしながら、住みやすい町づくりのために更に精一杯頑張ります。

さて、暑い夏から、ようやく秋らしくなってきました。スポーツや行楽など気持ち良く行動できる季節の到来です。先日、近くの山に散歩に出かけました。紅葉や、スキの景色を満喫し、そして、栗、しいの実を拾う事が出来ました。皆様も小さい秋を見つけに出かけられてはいかがでしょうか。

議会広報特別委員会

熊本地震被災地益城へ瓦など片付けボランティア

7月20日

6月10日の議員全体会議で決定した熊本地震にかかる災害ボランティアに五人の議員が参加し瓦等片付けのお手伝いをした。

議会活性化等検討特別委員会アンケート部会

8月24日

1 調査の目的

町民の福祉向上、豊かな町づくりのために町民の意識を把握したい。

2 対象者

広報紙を配布している世帯。

3 期間

6月6日から6月30日。

4 回収状況

配布数 2千825件
有効回収数 602件

5 今後の取り組み

目的達成のため、アンケート内容について議会活性化検討特別委員会で検討する。

JA苓北役員との意見交換

8月29日

JA苓北から組合長他理事の皆さんにお集まりいただき、議長他10人の議員と役場大会議室において、イノシシ被害への対応、後継者対策、遊休農地への取り組みなど農業振興の課題を協議した。

これらの課題解消に向けて今後も定期的に意見交換会を行うこととした。

第10回定例会

9月7日から14日まで

詳細は役場HPを

第1日目（一般質問 6人質問、7P～12Pに掲載）

第2日目（9月8日）

報告第5号（原案承認）

例月現金出納検査の結果報告
（平成27年度5月分28年度5

月分、6月分、7月分）

報告第6号（原案承認）

所管事務の合同調査結果報告
（三常任委員会）

6月10日の議員全体会議で決定した三常任委員会の合同視察研修を7月8日町内災害復旧工事個所等を視察研修した。

請願第1号（不採択）

「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出に関する請願
（説明）

28年6月10日、総務常任委員会に付託された本件は「不採択」にすべきと報告があった。

承認第11号（原案決定）

28年度町一般会計補正予算（第2号）
（説明）

歳入歳出を2千960万円追加し、52億1千100万7千円とする。
災害対策費が主。

議案第43号（原案可決）

町税条例等の一部を改正する条例
（説明）

地方税法、同法施行令、同法施行規則、及び所得税法の一部改正する法律が改正された。

議案第44号（原案可決）

町国民保険税条例等の一部を改正する条例
（説明）

所得税法等の一部を改正する法律が改正された。

議案第45号（原案可決）

財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
（説明）

語句の修正、及び公有財産の有効活用をさらに進めていく。

採決 賛成Ⅱ9
反対Ⅱ2

議案第46号（原案可決）

28年度町一般会計補正予算（第3号）
（説明）

歳入歳出を3億9千636万4千円追加し、総額を56億737万1千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第47号（原案可決）

28年度町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
（説明）

歳入歳出を917万3千円追加し総額を12億3千220万4千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第48号（原案可決）

28年度町介護保険特別会計補正予算（第1号）
（説明）

歳入歳出を1千882万2千円追加し総額を8億9千608万2千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第49号（原案可決）

28年度町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
（説明）

歳入歳出を138万9千円追加し総額1億1千132万円とする。
27年度繰越金の確定が主。

※ 認定第1号から第11号までの11項目は議長、議選監査委員を除く全議員による決算審査特別委員会を設置し一括して審査する事とした。

第3日目（9月14日）

☆ 決算審査特別委員会報告
認定第1号から第11号までの11項目については全て「認定すべきもの」。

認定第1号（原案認定）

27年度一般会計歳入歳出決算

原案に反対の意見

①完成した拠点避難地造成地には5千㎡の残土が盛り込まれ、異様という景観である。工事にはACⅡ盛土が1万8千㎡、あたかも必要な様に使われ多額な経費が計上され、また、平成28年度事業において、7千㎡の廃土が発生し処理する旨の説明が行われた。二転、三転するこの工事に反対する。

富岡城復元基本計画に伴う、大手門、追手門の工事に

議案第50号（原案可決）

28年度町水道特別会計補正予算（第1号）
（説明）

歳入歳出を129万2千円減額し総額を2億5千96万7千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第51号（原案可決）

28年度町下水道特別会計補正予算（第1号）
（説明）

歳入歳出を125万1千円追加し総額を3億5千269万4千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第52号（原案可決）

28年度町農業集落排水特別会計補正予算（第1号）
（説明）

歳入歳出を38万9千円追加し総額を1千781万円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第53号（原案可決）

28年度町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

（説明）

歳入歳出を88万4千円追加し総額を4千982万9千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第54号（原案可決）

28年度町宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）
（説明）

歳入歳出を77万8千円追加し総額を802万7千円とする。
27年度繰越金の確定が主。

議案第55号（原案可決）

請負契約（志岐漁港臨港道路1号橋下部工工事（その1）の締結
（説明）

橋台下部工の新設。
指名競争入札
契約金額
6千274万8千円
相手方
苓北町志岐（株）横山建設
代表取締役 横山森茂

原案に反対の意見

①仮設工平面図からは、この工事で三会橋から、海沿いに出た道路。志岐八幡宮の後

ろに出る道路。と、新たに建設する予定の道路との、接続点が見えない。

採決 賛成Ⅱ10
反対Ⅱ1

議案第56号（原案可決）

請負契約（町民総合センター大規模改修工事（その2）の締結
（説明）

床面、内壁等1階2階を改修する。
指名競争入札
契約金額
9千266万4千円
相手方
苓北町志岐（株）カネマツ
代表取締役 岩下 忠

認定第1号

27年度一般会計歳入歳出決算
認定第1号

認定第2号

27年度坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算

認定第3号

27年度都呂々財産区特別会計歳入歳出決算

認定第4号

27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算

認定第5号

27年度介護保険特別会計歳入歳出決算

認定第6号

27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

認定第7号

27年度水道特別会計歳入歳出決算

認定第8号

27年度下水道特別会計歳入歳出決算

認定第9号

27年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算

認定第10号

27年度特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算

認定第11号

27年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算

ついて一般質問の答弁の中で、交通安全対策等十分に配慮し、地元説明会を開催し住民のご理解とご協力をいただくよう努めたい。また事業を実施する場合は、2・3丁目地区だけの問題ではない。富岡地区だけの問題でもなく、町全体の問題になるので、町民に周知され、理解を求めていくよう要望があり、答弁で町民の理解を得るという事であったが、現在もまだ理解を得るような行動も無い、警察やバス会社も、確実な結論には至っていない。

町民の理解を得ないまま進められた事業は了承する事は出来ない。

賛成 10
反対 1

◎ 認定第2号 (原案認定)

27年度坂瀬川財産区特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第3号 (原案認定)

27年度都呂々財産区特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第4号 (原案認定)
27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第5号 (原案認定)
27年度介護保険特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第6号 (原案認定)
27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第7号 (原案認定)
27年度水道特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第8号 (原案認定)
27年度下水道特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第9号 (原案認定)
27年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第10号 (原案認定)
27年度特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算

◎ 認定第11号 (原案認定)
27年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算

執行部に対する要望事項

(一) 一般会計

○ 歳入

① 町税の徴収はなお努力を。資料館の有効利用検討を。

② 町有地の適正管理を。

③ ○ 歳出

① 企業誘致の積極的対応を。

② 農地の荒廃防止を。

③ 物産館の周辺整備を。

④ I C T教育の効果と検証。

(二) 国民健康保険特別会計

○ 歳入

① 税の徴収はなお努力を。

○ 歳出

① 健康保持増進の取組みを。

(四) 後期高齢者医療特別会計

○ 歳出

① 健康保持増進の取組みを。

計 ○ 歳出

① 健康保持増進の取組みを。

◎ 報告第7号 (原案承認)

27年度決算における健全化判断比率など

(説明)

実質公債費比率

13・4%

将来負担比率

140・1%

◎ 報告第8号 (原案承認)

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告

(説明)

◎ 発議第1号

熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書の提出

(説明)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣宛意見書を提出。

◎ 日程第

閉会中の継続審査 (調査)

(説明)

総務、建設経済、町民福祉、議会活性化、議会運営、議会広報の各委員会を閉会中の継続調査を要すると決定。

◎ 日程第

議員派遣

(説明)

町村議員研修会、全国議長

大会、議会広報研修会、関東ふるさと苓北総会へ派遣する。

決算審査特別委員会

審査の期間は、9月9日、12・13日の3日間。

〔一般会計〕

(歳入)

◎ 個人町民税のここ数年の推移は

◎ 資料配付のうえ説明

◎ 固定資産税・九電に関する情報は。

◎ 立地自治体への情報提供は難しいと考える。

◎ 全体収入の税が占める割合が3分の1程度だが、町債8億と収入の中でも借り入れの割合が多くなっている。今後の方向性は。

◎ 国の制度に沿って有利な財源を求めたい。

◎ 地方消費税交付金の増減が、景気のパロメータとなるのか。

◎ 直接的となると難しい。

◎ 光ケーブルを設置するのに多額の経費がかかっている。その活用を。

◎ 例えば、議会活性化へのお手伝いを検討。

◎ 併せて、長崎の情報も必要。長崎放送は見られないのか。

◎ 九州通信整備局と協議をしていく。

◎ 物産館内の飲食店の使用料は。

◎ 現在は、無料。来年度及び再来年度は半額4年目は全額。物産店は半額となっている。

◎ ユニバーサル道路の整備は。

◎ 手戻りにならない様早目に施工したい。

◎ 農地に堆肥が野積みされ悪臭を放っている。

◎ 環境条例の改正も含め検討したい。

◎ 待機児童は。

◎ 苓北町にはいない。

◎ 個人番号カード交付事業の活用事例は。

◎ 今の段階での判断は出来ない。

◎ 軽自動車税の内特殊車両

◎ は課税しなくてもいいのでは。

◎ 乗用であれば課税している。

(歳出)

◎ 職員の接遇について

◎ 課長を通じ直接指導をしている。処遇対応も検討したい。

◎ 全委託料の把握はしているのか。

◎ 検討してみたい。

◎ 富岡調整池の民有地との境界はどうなっているか。

◎ 適切な保全に努める。

◎ 未使用の町有地については整地を行い処分した方が良いのでは。

◎ 町有地の有効利用・売却に努めたい。

◎ 巡回バスとスクールバスとの運行業務の比較は行ったか。

◎ スクールバスに混乗は、出来ない。

◎ 天草エアラインは黒字としているが市町の補助金で成り立っていることの再確認を。

◎ 意見をしていきたい。

◎ 長崎天草航路補助金の実績報告を。

◎ 地方バス運行補助金の内下田高浜間の補助金額相当分を都呂々方面巡回バスに当てるべき。

◎ 検討したい。

◎ バス停の風雨対策と状況の把握を。

◎ 把握したい。

◎ 街灯の設置基準・修繕、支障木の伐採は。

◎ 区長等から連絡により対応。高所作業となると行き届いていない点がある。

◎ 社会教育団体の活性化を図るべき。

◎ 年柄の国道横の国有地にロープが張ってあり使用できない。

◎ 看板を立ててイベントの時使用できるよう知らせたい。

◎ 交通安全の指導方法は地域住民に根ざした交通指

導をすべき。

◎ 警察に申し入れする。

◎ 電算システム委託料が高すぎるのでプロセクトチーム等を作って再度検討すべき。

◎ 検討してみたい。

◎ 企業誘致を重要と考えているならば、全員で行ったらどうか。

◎ 今回は会社訪問を考えている。

◎ 選挙年齢が18歳に下がった。どの様な啓発を。

◎ 冊子の配布。議会傍聴などを呼びかけていく。

◎ 独居老人訪問相談員は民生委員以外の方にも委嘱したらどうか。

◎ 検討する。

◎ 民生委員の報酬は。

◎ 国からの報酬年額5万7千円。費用弁償的なものを検討してみたい。

◎ 社会福祉協議会は補助金・寄付金で運営されていることを認識し指導監督の強化を。

◎ 会長に伝えたい。

◎ 在宅高齢者等移送サービス事業の利用者が伸びな

◎ い理由は。

◎ 27年要項の変更があった。28年は増えてきた。

◎ 老人福祉センターの利用内容

◎ 資料の提出と説明。

◎ 年金の徴収率が落ちていく年金事務所へ申出を。

◎ 苓北町は8割超。

◎ 未納者へはのペナルティーが課されると言うことの周知を。

◎ 減免措置制度等の周知を図りたい。

◎ 老人福祉センターに老人クラブ事務局を置く事となっていたが経過は。

◎ 条例に載っていたかは不明。高齢者の介護予防のためにやっている。

◎ 本来の利用目的に応じた利用をして欲しい。

◎ 指定管理者と検討したい。

◎ 野良猫対策は。ペット条例等検討されないか。

◎ 苦情も多く捕獲器等で対応している。条例は検討したい。

◎ A C IIモニタリング調査は民有地はやらないのか。

◎ 軽自動車税の内特殊車両

◎ 再確認を。

◎ 交通安全の指導方法は地域住民に根ざした交通指

◎ 在宅高齢者等移送サービス事業の利用者が伸びな

◎ A C IIモニタリング調査は民有地はやらないのか。



倉田 明 議員

町長 ターセンター入館者5割程度
の13、500人と想定し、入館料を388万8千円

また、来場者を増やすためにも町内外に向けての周知、展示内容等や入館料も併せて検討を進めたい。

町長 キャンプ場の管理運営については、町観光協会に年10万1千円で委託し、受付や使用料徴収及び、日々の清掃管理を頂いている。

また、キャンプ場所以外でのテント設営については、特に町への情報提供もなく把握していないが、町としては指定したキャンプ場以外の公有地に無断でのテント設営やキャンプ等は許されないことで、情報等があれば移動するよう指導致したい。

町長 また、開館1周年記念の特別展の計画及び、展示品の定期的入れ替えの考えは。

今後の方策として、現在、非常勤職員の雇用により受付、案内業務を行っているが、来観者への説明を考えますと、ボランティアガイドさんによる案内と説明が出来れば、来観者への理解も深まると思われそうです。ボランティアガイド協会の方へ運営のご協力をご相談しているところです。

町長 キャンプ場は民有地のため借地料負担等で収支は厳しいと思われる。しかし、町の宣伝と地域活性化を考えると多少の支出は止む得ないが、現状と今後の展望は。

町長 キャンプ場の管理運営については、町観光協会に年10万1千円で委託し、受付や使用料徴収及び、日々の清掃管理を頂いている。

また、案内板のテント利用料金、ゴミ等の取り扱い項目と、ご飯の炊き方説明板については、ご指摘のとおりで今後改修を図りたい。

開園一周年の町歴史資料館の利用状況は

問 私は以前、郷土資料館を富岡城周辺に移設し、ビクターセンターとの相乗効果を図り、少々の赤字でも地域の歴史、文化を後世に引き継ぎ、また、それらを活かした町づくりの推進をと質問させて頂いた。

としては、平成27年度実績は、7月から28年3月までの入館者は、ビクターセンターが約25,000人に対し、歴史資料館は約3,000人で12%、入館料収入は約69万7千円で17・9%の結果でした。

そして、本年は雲仙天草国立公園指定60周年ということで記念事業を梶北町で開催します。事業予定として、10月30日に記念式典、オルレを開催致します。

また、10月21日から11月20日までの1ヶ月間、歴史資料館では国立公園に多大な影響を与えた、龍清六さんの絵画

今年度は熊本地震の影響が大きく、例年利用客の多い5月が昨年の201人に対して15人と大きく落ち込みましたが、7月中旬以降は天気に恵まれ、昨年度より増加しているが、4月から8月までの累計では昨年度の6割程度となっている。

一般質問

（6議員答壇）

公有地のみを考えている。海岸のマイクロプラスチックに対する調査。
国レベルで調査中。
農地の荒廃対策は。
農地の貸し借り事業を行っている。オリーブを行っているが難しい。椿、柵も検討している。
イノシシの予算が林業費に計上されているが農業費に入れるべき。
検討する。
堆肥センターの普通堆肥の利用について。
今後検討していく。
堆肥センターの修繕料は老朽化が原因か。特許の関係か。
保守点検委託料の中に特許の機密保持が入っていると考えている。当時の契約内容を調査し検討する。
イノシシは天草全体での取組みが必要。猟銃での対策も。
3市町で協議会を作っている。天草猟友会に委託。治山ダム道路にガードレールの設置を。

現地確認し報告する。小路川上流域の整備を。竹木の伐採を実施する。現在設計中である。
上津深江港の突堤はどうかにならないか。
老朽化と思うが補助事業も難しいので再度検討したい。
道路支障木の現場を見てもらいたい。
予算査定前に現場を見て回りたい。
道路新設改良工事の残土処理はどうしているか。
残土は年柄イゲ林へ。富岡分は首塚へ。他志岐漁港の臨港道路等に処分を考えている。
道路ストック調査とは何か。都呂々四差路の歩道の検討を。
道路の長寿命化のため構造物等の調査
ナルトサワギクの対策。牧草に問題があったのではないか。
除草対策を行っている。国等に原因を追及していく。
漁港工事の28年度分はど

こか。順次工事をしなかった理由は。
28年度国費配分が多かったの下部工を優先した。地域の利便性を考えて工程をくむべき。
検討したい。
物産館トイレの改修は。ウォシュレット等まだ施工していない。
物産館は周辺整備も含めて有効活用を図るべき。使用料減免の状況。
緑地帯の検討、用地買収も検討。使用料は28年4月から減免。
富岡城公園の経済効果は。徐々に効果が出てきていると考えている。歴史資料館の中身を検討。
木が大きくなりすぎて、地盤が弱くなり災害が起これやすくなっているの対策は。
人工林については、森林組合で実施している。
小河川の立木、流木の対応も。
10月～11月で実施。
町営住宅横のテニスコート利用は。

一般の使用はむずかしい。一般人構想があるが単独費で住宅を建てると町外からの転入も期待できる。検討したい。
スマホ対策は。
スマホ利用五箇条を保護者に説明している。
大麻対策は。
年一回薬物乱用の講習会を行っている。
ICT教育の効果は。
前年に比べ効果があった。坂瀬川公民館改修が遅れている。
国の許可が遅れている。
【坂瀬川財産区特別会計】なし
【都呂々財産区特別会計】なし
【国道への土砂崩の責任】は。
土地管理者と思われる。
【国民健康保険特別会計】収入未済額の対応。
貯金の差し押さえ等を行っている。

【介護保険特別会計】介護サービスを受けている人
施設124名
居宅214名
予防事業は。
健康教室、健康指導等。
【後期高齢者医療特別会計】なし
【水道特別会計】なし
【下水道特別会計】マンホールトイレの検討は。
現物を見て検討。
【農業集落排水特別会計】なし
【特定地域生活排水処理事業特別会計】なし
【宅地造成事業特別会計】なし



野崎 幸洋 議員

都市再生計画(大手門公園整備)について

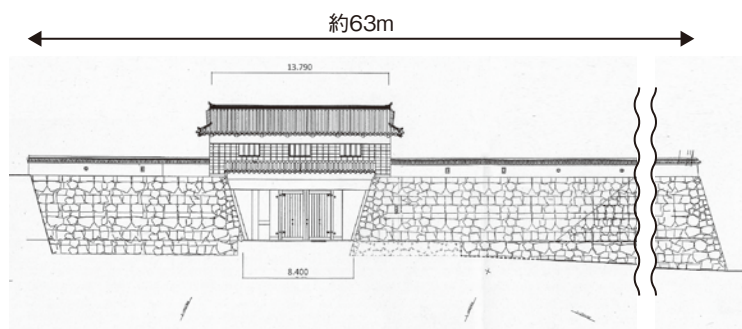
- 1、天草広域消防本部・天草警察署・産交バス、協議結果は？
- 2、富岡地域住民の声は？
- 3、大手門7千800万円の事業費見直しはされたのか？
- 4、都市再生計画総事業費約16億の費用対効果は？

問 現在、富岡2丁目に大手門公園整備の工事が行われ、第1期から第3期までに総事業費約3億8千万円が投入される計画である。しかし、「本計画は車の通行の際に危険であり、また、登下校時の交通事故等が更に心配される。このように、町民にとって危険で、使い勝手の悪くなる町道改修であってほならないと考え、地域住民に対し十分な説明と理解が得られているのか」3月定例会においてお尋ねした。

町長 答弁では、「各関係機関との協議を行った中でご指導ご判断により、その範囲内で事業計画を遂行したいと考えている。」

また、住民皆様への説明については、2丁目区・3丁目区及び富岡小学校保護者へは、関係機関と協議の上、事業を実施する旨の説明を終えている。以後順次富岡各地区の総会等で説明を行ってゆく事になっている。」との答弁であったのか？

関係機関との協議の結果はどうであったのか？



大手門広場事業計画図

また、地域住民からの声はどうであったのか？

前回、大手門の設置費用についてお尋ねをした際、「当初、7800万円を見込んでいたが、見直しも検討する。」との答弁であった。

その後、事業費の見直しをされたのか？

富岡志岐都市再生計画において総事業費が約16億円と膨大な予算を投入する事になるが、その費用対効果をどのようにお考えなのか？

町長 産交バスのとの協議ではバスは、クランク状の道路ではバスの通行は難しく、バス路線を変更する必要がある。」との回答であった。

天草警察署との協議では「クランク状の道路では、カーブミラー他、安全施設の設置等の検討課題が多々ある。」との指摘があった。

天草広域消防署苓北分署との協議では「緊急車両については、道路規制にそって走行するため、町道等に対して規制をお願いすることはない。」との回答であった。

また、富岡地区説明会での住民の意見等は「大型車の通行はできるのか」、「クランク状の道路を車で通行するのは安全性が心配だ。」「通学路の確保はできるのか。」等の意見があった。

以上のことを踏まえ、計画の見直しを行い、詳細については8月29日の議員全体会において説明を行った。

(車両は、大手門前から東海岸へ迂回する案)

町長 大手門設置の事業費については、多額と考え、富岡城の規模に見合った事業費に見直しを行う。また、費用対効果については、当初計画申請時に目標を定めているが、第1期第2期計画でも宿泊・イベントの交流人口がそれぞれ増加している。第3期計画においても、情報発信を、内外に積極的にPRし交流人口・観光客の増加が実現できる計画としており、さらに、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産として登録されれば、天草市の観光入込客数15万人の約1割の1万5千人は苓北町に訪れていただく事が出来ると考えている。

再問 このような、町民の不便を強いられるような門は造らず、歴史に基づいた案内看板を設置するだけでも十分町民や観光客にも理解していただけるのでは？

町長 町民に対し十分な説明を行ってゆく。



松本 良人 議員

長崎自動車道から島原半島、口之津までの高速道路の整備

問 (利便性―島栖まで最短) 旅行を計画する者にとって何を重視するかという欠航しないか、運賃、待ち時間、便数、所要時間等である。鬼池港は、苓北町の中心地、志岐より車で約20分である。富岡港、茂木港間と、鬼池港、口之津港を比較するとその差は比較にならない。例えば、大人運賃は、茂木航路2000円、口之津航路3600円。便数にしても茂木航路4便、口之津港路平日15便、土日祝日は、17便である。

苓北町のみならず天草の利便性を考える時、口之津から長崎自動車道への高速道路の接続は必要不可欠と考えられる。長崎高速道路から、口之津まで高速道路の新設要求に

ついて、「島原、天草、長島架橋建設促進期成会」で取りあげてもらえないか。又、天草二市一町、或いは苓北町単独で、国や長崎県に対し働きかけや要求が出来ないか。

町長 島原・天草・長島架橋建設促進期成会では、島原・天草・長島架橋構想及び九州西岸軸構想実現に向けた取り組みを行っている。九州西岸軸構想において、南島原市深江町を起点とし、諫早市貝津町の長崎自動車道諫早インターまでを結ぶ島原道路が、既に国の計画に位置づけられているので、早期実現に向けて要望を続けていく。

再問 (災害―五橋、瀬戸橋が決壊したら?)

今回の熊本地震をはじめ数々の台風や豪雨災害では、道路や橋が決壊し孤立した集落が多数発生した。もし天草架橋の一つが崩壊したら、瀬戸大橋が通行できなくなったらどうなるか。物資の流通は途絶え、六つの橋に支えられてきた私達は、なすすべもない。口之津から長崎自動車道に通じる高速道路が完成すれば、

ば、港湾も、船舶も今以上に充実され、大いに利用可能になる。3県一丸となり、国への陳情を強く要望する。

富岡巴湾及び周辺地域の暴風、防潮対策

問 昭和年代、富岡曲がり崎には大きな松の木が生育し、キャンプをしたり、磯遊び、散策の場、憩いの場として大いに利用されていた。また、高さ十数メートルの大きな松の木の太木により。湾内やその周辺の民家等への防風、防潮の役目を大いに発揮し、魚介類の生育にも役立っていた。

しかし松食い虫による松の木の枯渇と共に、昔の面影はない。特に、富岡港湾整備に伴い、漁船は集積し、物揚場においては、砂、砂利等の野積み場として活用されているが、船や家屋、農作物等に風による影響は大きく、住民からの防風、防潮対策についての希望は多く、特に、漁民は漁船に対する防風対策を望んでおられる。

富岡城復元が進む中、巴崎の景観の確保は、防風、防潮

対策と併せて、重要かつ早急な対策が求められる。

松、あこう等は比較的早く大きくなり、塩害に強く、景観にもマッチする。この種の木の植栽は出来ないか。

町長 景観形成という観点では、松の太木が生い茂る景観を復活させたいとの考えを持っている。この巴崎一帯は、九州大学の所有となっている。県の天然記念物の指定を受けている「ハマジンチョウ」等の群落もあることから、自然の状態で保持したいと考えているようである。ハマジンチョウや砂嘴という地形・景観は苓北町の財産でもあると考える。松を植栽する事へのご理解とご協力が頂けるよう申し入れをしたい。

再問 近年の自然災害、特に地震、津波等による被害は、計り知れないものがある。苓北町においてはその対策に巨額の予算が充てられている。有明海と雲仙の近くには活断層もあると聞いている。その活断層に異変が起けると津波の発生は必至です。曲がり崎の対策は、苓北町の北側の

海岸で唯一防波堤のない一、二丁目、汐入地区を津波から守る天然の防波堤でもある。現状をご理解いただき強力な申し入れをお願いしたい。

問 この法律は、災害が発生する恐れのある土地を、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域として指定し規制するもので、新しくその土地(特別警戒区域)に家を造る場合は、建築物等に規制がかけられ、確認申請等の手続きが義務づけられる。宅地造成等の開発行為についても厳しい基準がしかれるため、土地の価値が著しく低下する。

固定資産税は、土地の価値より課税されるが、この区域内の土地については、どのように課税がなされるか。

町長 土砂災害特別警戒区域の指定を受けた土地については、建物の構造規制や特定の開発行為等に制限等がある。影響を受ける土地については、近隣市町状況を参考に適正に対応したい。

1. 富岡海水浴場について、町の観光と関連して

2. 町の防災計画について



石田みどり 議員

問 ①富岡海水浴場の近年の利用者数の推移と監視体制。

富岡海水浴場は水がきれい、幼い子供も安心して利用できると好評であるが、ここ近年の利用者の推移と、監視体制はどうなっているのか。また、町の観光施設と関連しての情報発信はできているのか。

町長 ①例年7月上旬から8月下旬の開設期間であり、

近年の利用者の推移は平成二五年はのべで8,591人、二六年7,304人、二七年12,207人、今年は11,542人であった。情報発信については観光パンフレットを町のホームページで閲覧できるようにしており、町内の観光施設でもパンフレットや案内マップを設置し、海水浴場にもパンフレットを置き、監視員から情報提供を行っている。監視体制は今年3名の監視員でお盆までの土、祝日は3人体制。平日及びお盆以降は2人体制で対応。監視員は普通救命講習の受講が条件で3人とも終了している。監視員の業務は水難事故防止のための監視、けがの応急救置、緊急時の連絡と併せ、ビーチ内その他施設の清掃等を行っている。

町長 ②監視員に熱中症対策として冷蔵庫を完備できないかとの事だが、現在エアコンを設置しており監視員の休憩場所として、また、海水浴客の体調不良等の休憩場所として利用してもらっている。監視員にも交替で休憩水分補給等体調

管理をお願いしているので、冷蔵庫の設置は考えていない。

町長 ③開設前の事前点検については、シャワー室及び監視施設は開設期間外は施錠している。開設前には町職員で点検と清掃を行い、ビーチについては階段等に堆積した砂を重機で移動する作業を実施している。

町長 ④海岸清掃については、環境省の「海岸漂着物地域対策促進事業補助金」を活用し、臨時職員2名を雇用して回収している。二七年度は事業費の9割、二八年度から8割の補助事業となっている。作業場所は坂瀬川から都呂々まで。人が降りて行ける海岸はほぼ全域を巡回している。

町長 町の防災計画の中で人命最優先の原則が入っていないようであるが、また、被災者のストレス対策での関連死が多い中でこれも考えるべきでは。災害時の職員配置は約4割の非正規職員も含むのか。食料品の備蓄は各避難所の収容人数の3日分を目標備蓄量とあるが、その通り確保してあるのか。

身体及び財産を災害から保護するためであり、何よりも人命最優先となる。総則でも記載し第4章7節で「災害により生命身体が危険な状態にあるもの、また、生死不明のものを捜索し救出してこれを保護する」と規定している。惨事ストレス対策についても第4章6節で「避難所における生活環境に注意を払い、避難者の健康状態や避難所の衛生状態の把握に努める」他にも専門分野の人による心のケアも行うと規定している。

町長 災害時の職員配置については災害対策本部設置後の非常体制においては、正規職員全員の配置を定めており、非正規の職員は含めていない。備蓄品の備蓄については、5ヶ年計画で目標量を配備交換していく事にしており、第一期分については平成二五年度から二九年度まで備蓄することになっている。想定を超える災害が発生する事もあり、今後の動向も見ながら見通しや改正を行ってまいりたい。



浜口雅英 議員

一 防災対策

(一) 津波一次避難所設備の整備

問 紺屋町、明神山、富岡中央に津波一次避難所が建設されている。熊本地震の折には住民が避難された。一次避難所は短時間の避難を想定しているのでトイレは簡易器具。日よけ雨風よけの設置は考えていない。との事。一次避難所の使用が実践されたが考えに変わりはしないか。

町長 一時的な避難場所として指定している。簡易組立型トイレや耐寒用品、飲料、食料品等の短期間の避難に必要な備蓄品の配備を行っている。今後もしそういう姿勢で行きたい。

(二) 防災ゾーン広域避難地の整備計画

問 町はヘリポートなどの機能を持たせた広域避難地を造成した。町有地と民地との境界決定の経緯が不明確。造成工事残地の活用も含めた広域避難所の利用に係る全体計画。及び、維持管理費は。

町長 避難所として利用可能とする協議で法面上部を境界として決定。国道、町道からの進入路の舗装工事を施工。今年度トイレと備蓄倉庫を整備。椿等の植栽を計画。町民の憩いの場として整備。維持管理は、総務課で管理。

問 熊本市内から苓北町はよつてつながれており文字通り天草地域、苓北住民の生命線。この事業が遅れるデメリットは、(一)生かしきれない地域振興のチャンス。(二)観光や養殖業等地域の活力が喪失。(三)人口減少に歯止めが利かない。が挙げられているが遅々として進んでいない。橋で島と島とが結ばれてい

二 交通インフラの整備

(一) 高規格道路の早期完成

る。万が一、どれか一つの橋が通行不可能になれば、天草諸島は孤立し天草島民、苓北町民の生活はあり得ない。この道路の早期完成のために、「天草島民決起集会」を早急に開催し国、県へ地域住民の強い意思表示をすべき。

町長 「熊本天草間幹線道路の早期完成を求める天草島民集会」が、計画されていたが、熊本地震の発生により中止になった。整備促進期成会の中で検討をお願いしたい。

問 本町の国道は、住民の日常生活、産業の振興に無くてはならない道路。しかし、通行する住民等の安全を考慮した場合、改善すべき箇所がある。

町長 富岡出来町の町道首塚線の改良を県に要望している。坂瀬川おっぱい岩の車寄せゾーン。西川内漁港内に駐車場に車を誘導し海岸に降りられる階段を作っている。都呂々竹の迫から天草町下

(二) 国道の改良

田にかけての区域は、早急に抜本的な防災対策を講じて頂く様要望書を提出している。

(三) 本渡苓北間バイパスの整備

問 住民の円滑な通行の為、熊本と本渡間の高規格道路の早期完成とともに本渡苓北間のバイパスの早期整備が必要。

町長 天草国県道整備促進期成会等で正規の議題として県と打合せを進めている。

(四) 町道の維持管理 (四)の1 側溝の土砂取り除きと蓋鳴り

問 道路側溝は降雨時の雨水処理等、地域住民の生活の安寧上とても重要な施設。土砂が堆積している側溝は、早急に取り除きをすべき。また、この側溝の蓋には車両が踏みつけ大きな音が発生する場合がある。

町長 担当者が現場を確認し、極力早い時期に対応する様努めている。

問 公共道路は人や車の通

(四)の2 支障木の処理

行以外にも電力、通信ケーブルの設置、住民の安全を守る為の外灯の設置多様な機能を果たしている。

町長 支障木は必要最低限で町で伐採している。

(五) 富岡茂木航路への取り組み

問 長崎天草航路は交付要綱に基づき損益計算書の純損失額を補助金として交付している。今後の苓北町の財政運営上、このまま赤字が続く、これに町が全額補助しなければならぬという状況が続く様であれば、町の財政負担は長期に亘り、次世代に負担を残さない為にも今後の検証が求められる事業の一つと考える。

町長 国、熊本県、長崎県、苓北観光汽船株式会社、富岡地区区長会代表で地域協議会を組織し先月29日第1回天草・長崎航路対策協議会を開催した。国の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」申請に必要な「離島航路確保維持計画」を平成28年度中に策定する。

傍聴記

状通行状況の確認、変更後の状況等を確認するため警察や路線バス会社との協議、地域住民への説明会等、住民の生活環境が変化する時の町と議員の皆さんとの、細やかな意見の交換がなされている姿を見ると、本当に住民の代表者として頑張っておられるなと感じました。

今後も苓北町住民のみんなが安心して暮らせる町作りに頑張ってください。



西川良子さん
(坂瀬川)

9月7日、苓北町議会定例会が開かれ、JAれいほく女性部より8名傍聴させて頂きました。

久しぶりの議会傍聴なので、私も少し緊張して傍聴席に入場し廻りを見渡

してみると、傍聴席は住民の方達で一杯になっており住民の皆さんの関心の高さがうかがえました。

議長の進行で、開議宣告、行政報告がありその後、一般質問が始まり、本日は6名の議員の方が登壇され苓北町の地域振興・防災・教育の振興等について質問されました。

午前中だけの傍聴でしたが、その中で私が印象深かったのが都市再生計画の質問の中で、道路の変更に伴う道路の現



岡崎秀子さん
(富岡)

が、元町会議員の方や区長さん等でほぼ満席になりました。

町民の町政への関心の高さを感じました。今回は6名の議員さんが質問に立たれましたが、夫れ夫れの方が自分の思いを込めて町民の代辯をして下さっている様子が伺えました。

町の政治とは町民の暮らしを行政がどう守るのかと言う事だと思えます。今回二人の議員さんが見直しを提案されている都市再生事業(大手門公園)のような町民の生活に影響がある重大な工事は、近辺の住民の合意に限らず町民全体に説明があるべきです。消防車や救急車が懸念され、バス路線が変えられたり、警察署が町民の合意がないと協議に応じない等この工事自体無理があったのでは、と個人的に思いました。補助金が出て町の出費が少なければ無駄な工事でも反対しないのは間違っていると思います。税金はすべての人の幸せのために公平に使われるべきです。今、国が戦争法を押し進める中で社会保障制度(医療、介護、年金)が変えられ、各自自治体も財政的に苦しくなるとありますが安心、安全の暮らし優先の政治を望みます。津波避難所にトイレ、雨風よけ設置(浜口議員)小中学校に冷房設備の基金を。(高戸議員)海水浴場の監視小屋に熱中症対策の冷蔵庫を。(石田議員)等少額で済みそうな案件が実現しなくて意外でした。議員さん方には今後も生活者目線で頑張ってくださいと思います。

都市再生整備計画の今後の方向性は

問 本事業は、文化財や歴史的観光交流施設等を一体的に整備し交流を促し歴史を行かした町造りを推進するところ。

そのため、現在までにビクターセンターを核として周辺の整備が成されてきた当初は、「未来への投資」として誰もが期待し理解を示していた。事業が進につれ住民への周知不足と「ハコモノ行政」に変わってきたのではないかと。その最たるものが歴史資料館であり東西の角櫓である。第三期整備計画で出丸の整備・櫓の計画があるようだが如何なものかと感じている。



高戸幸雄 議員

町長 都市再生第三期計画では、富岡往還沿線整備に加え、情報発信を行う事業も含めている。内外に積極的にPRすることで交流人口・観光客の増加が実現でき、長崎と天草の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録されれば、苓北町にも訪れていただけ宿泊も頂けるような仕掛けができると考えている。

事業については、完了後再度評価をいただきたい。

地蔵堂の補償について計画段階においては、委託業者からの提案はなかった。

事後評価委員会は、4名で構成され第二期の事業についての現地調査や目標達成の確

大手門公園整備の中で、地蔵堂の補償があるが、現在地に「鎮座」している意味からも設計委託者からは、当初から現在地を活かした提案は成されなかったか。事業評価委員会が開催されているが、特段の意見はなかったか。

本事業について、いったん立ち止まり再検討される余地はないか。

交流人口の推進より安心して暮らせる事業の推進を

問 現在町では、ふるさと未来を見据えた整備事業が目白押しで実施計画されている。事業の主たるものは、交流人口の推進である。

しかし、昨年度の大水害を受けての橋梁の整備・改良が必要であるため地権者からの無償での用地提供があった道路の整備も必要である。

坂瀬川小路の川に架かる沖の田橋・小路橋特に小路橋については、橋長・幅員架設物件等考慮し早急に設計委託だけでなく取り組む必要があるのではないかと上流部の沖の田橋については、一刻も早く予算

を確保し抜本的な解決を望む。

町道多々羅線道路改良については、先の議会で電柱移転に多額の経費が必要との答弁であったが、他の事業と比較し疑問視を覚えた昨年度は、水害と寒波と大変厳しい状況であった。来年度は、国保税を増額したいとの答弁もあっている。交流人口推進のために多額の予算が投入される姿のみが大きく映し出され安心して暮らせる姿がなかなか見えてこない見解を。

町長 小路川に架かる沖の田・小路橋何れも構造上橋脚の撤去はできなく掛け替えるしかない」と答弁していた。橋梁の長寿命化調査結果ではかけ替えの必要のない橋である。橋脚がない橋にかけ替えるとなると概算で合計6千5百万円が必要と見込んでいます。

業務委託の中で安価で効果期待ができる流木補捉工で出来るだけ早期に完成できるように検討していく。町道多々羅線は、協議が整ったので本議会に補正として提案している。

子どもたちの教育環境の整備を

問 今年、一段と厳しい夏場となった。今までに何回となく空調・冷房設備の充実が上がっている。答弁としてはきまつて検討するとあるが検討するにも予算がないと出来ない。数々の諸条件もあるが、近い将来を見据え学校舎基金への積み立ての考えはないか。

町長 近年の夏の暑さは、大変厳しいものと感じられている。学校の空調設備の充実については、総合教育会議の中でも協議された。今後、財政状況が許せば、基金積み立てを行いたい。

10月末頃発注し早い時期に竣工したい。